

業界初、家族の“ふれあい度”をデータ化してリフォームプランに活用
位置・時間データのログ収集分析装置を採用した「こころの巻尺」
「ふれあい計測システム」サービスを開始

※ Fureai Measurement System (FMS)

ホームテック株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：高橋久明）は、住宅業界で初めて、ZigBee（ジグビー）^{*1}に準拠した位置・時間データのログ収集分析装置を採用して、ご家族の“ふれあい時間”をデータ化することにより、リフォームの満足度を向上させる新サービス「ふれあい計測システム」を12月18日より開始します。

<「家族のふれあいが深まるリフォーム」を実現>

当サービスは、リフォームをご検討されているご家庭を対象に、居住者が在宅時に小型端末を装着するだけで、ご家族ひとりひとりの在室場所を30秒ごとに検知し、誰が誰と、どの部屋にいつからいつまで居たのかをデータ化するものです。

例えば、お父さんとお子様リビングルームで一緒に過ごす時間を数値化できますので、そのデータを基に建築士、プランナーが、ご家族がふれあう時間が自然と長くなる間取りのご提案など、家族のすれ違いを解消して“ふれあい度”を向上させる「家族のふれあいが深まるリフォーム」を実現します。

<新サービス「ふれあい計測システム」開始の狙い>

近年、核家族化の進展とともに世代を超えたコミュニケーションが希薄となり、家庭内においても会話の減少などが社会問題化されています。

当社は、約2万8000世帯の施工実績から、暮らしの満足度を高めるには家族の「ふれあい時間の長さ」が重要であると考え、「家族のふれあいが深まる家づくり」を企業理念に掲げています。今回、企業理念の追求の一環として、業界初となるサービス開始を決定しました。

<「ログ収集分析装置」の概要>

小型端末から発信される微電波を各部屋に取り付けたアクセスポイントが自動で読み取り、さらに自動でコーディネーターに送信することでパソコン上でのデータベース化が図れます。

装着する小型端末は、軽量（40g）、コンパクト（34.5mm×49.5mm×17mm）。マジックテープ、ストラップ等で取り付けおよび取り外しが容易なのでストレスなく使用できます。また、通信はワイヤレスで行なうため面倒な配線工事も不要です。

1:省電力で低コストな次世代型の近距離無線通信方式。近距離無線ネットワークの世界標準規格の一つであり、信頼性のある、低消費電力・低コストの無線通信の規格。2001年からZigbee Alliance(米国カルフォルニア州所在の非営利団体。IEEEで規格化されたIEEE 802.15.4の標準化に取り組んでいる。)

<サービス内容>

- ◆ 調査期間：1週間（基本調査）
- ◆ 調査人数：標準5人（追加も可能）
- ◆ 調査規模：標準5部屋（追加も可能）
- ◆ 対象：リフォームお見積りご依頼のご家族（無料）
今後はシステムのみ的一般家庭への貸出（都内・有料）も展開予定
教育機関、研究機関への貸出は応相談

◆ サービスエリア

【東京都】

八王子市・あきる野市・日野市・多摩市・稲城市・府中市・小金井市・町田市・立川市・国立市・国分寺市・昭島市・武蔵村山市・福生市・小平市・東大和市

【神奈川県】

川崎市麻生区・横浜市青葉区・相模原市（一部）

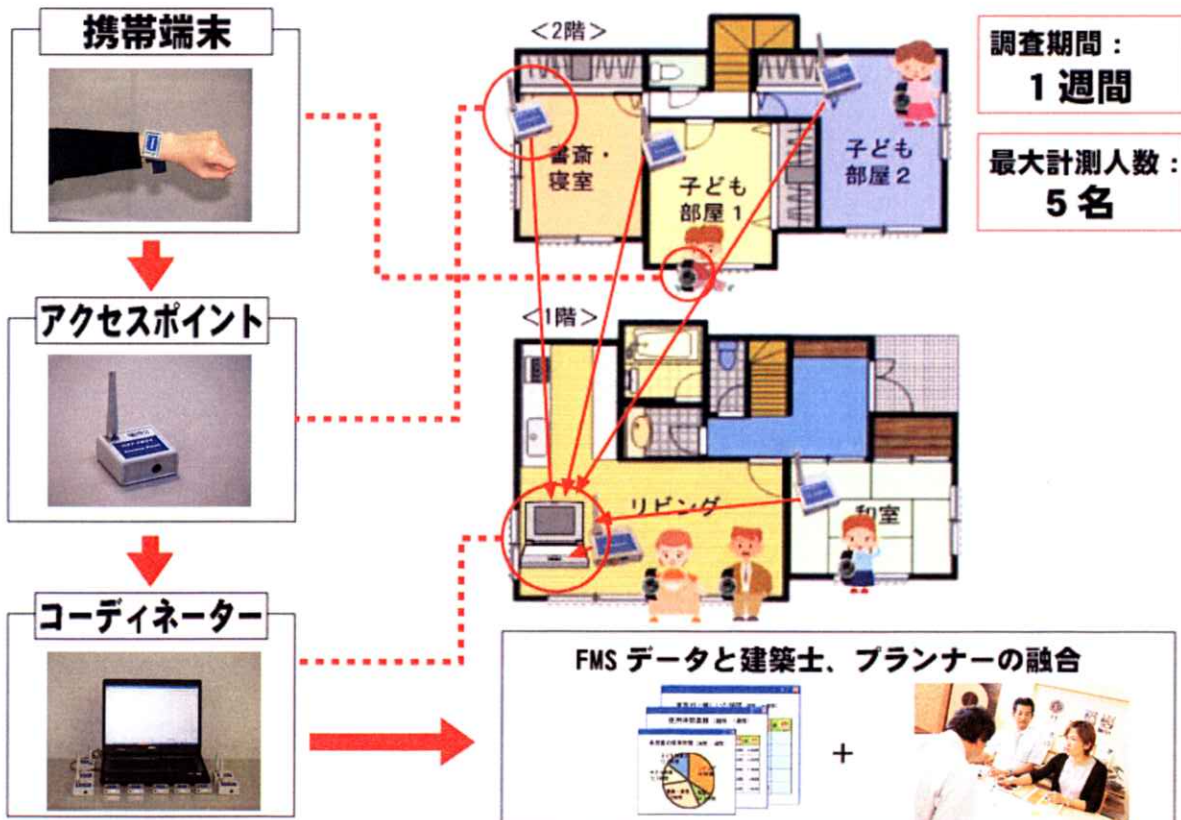
- ◆ 利用料金：無料

- ◆ 申込方法：電話の場合は、0120-89-1802 FMSグループ まで
FAXの場合は、0120-356-8908 FMSグループ まで
eメールの場合は、eisui@hometech.co.jp または、公式ホームページ
<http://www.hometech.co.jp> から

- ◆ 調査結果報告書「ふれあいデータシート」（計測家族全てに提出）

- ① 家族同士の部屋ごとの“ふれあい”時間数
- ② 各部屋の在室時間数（個人単位）
- ③ 各人の在室時間数（部屋単位）
- ④ 建築士、プランナーによる結果所見

<システム関連図>



<数値(データ)の事例(図)>

- ◆ 収集したデータで「ふれあいデータシート」を作成。家庭内でも楽しみながら結果を確認できます。

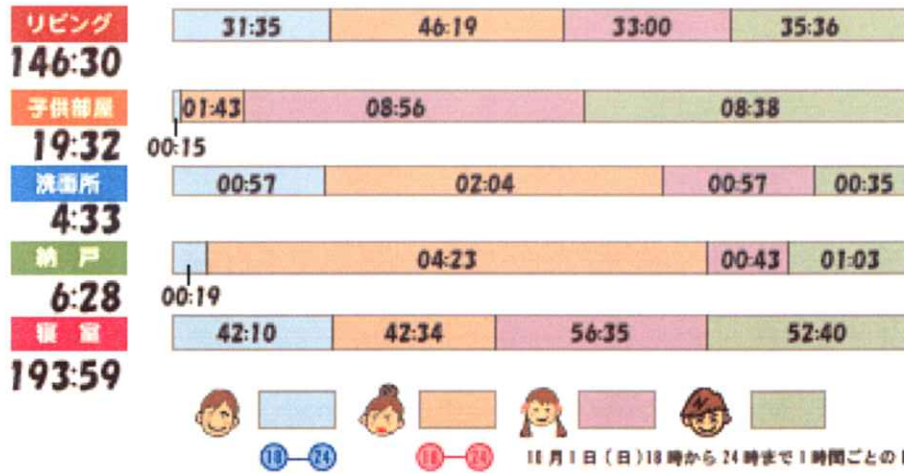
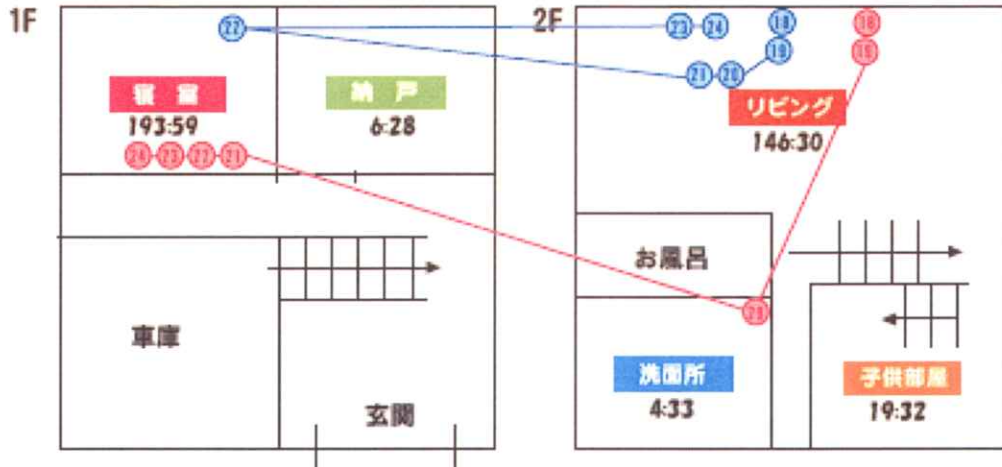
調査期間の間、これだけご家族一緒に過ごしました

調査期間 2006年9月29日(金)夜~10月5日(木)夜 1週間

	お父さん	お母さん	お姉さん (10歳)	弟くん (6歳)
お父さん		総合計 50:47 就寝を除いた時間 13:13	総合計 50:05 就寝を除いた時間 13:24	総合計 48:58 就寝を除いた時間 13:48
お母さん	総合計 50:47 就寝を除いた時間 13:13		総合計 61:06 就寝を除いた時間 24:56	総合計 65:22 就寝を除いた時間 27:36
お姉さん (10歳)	総合計 50:05 就寝を除いた時間 13:24	総合計 61:06 就寝を除いた時間 24:56		総合計 66:29 就寝を除いた時間 24:03
弟くん (6歳)	総合計 48:58 就寝を除いた時間 13:48	総合計 65:22 就寝を除いた時間 27:36	総合計 66:29 就寝を除いた時間 24:03	

上記は家族同士の対面時間の表です。上段は就寝時も含んだデータ。下段は就寝時を除いたデータです。

それぞれのお部屋でこれだけの時間を過ごしました



結果所見です

下グラフはお父さんと、お子さん（お姉さん、弟くん）とのふれあいを取り出したものです（寝室は除く）



お父さんと二人の子供さんのふれあい時間ですが、1日平均がお姉さんとは1.89時間、弟くんとは1.97時間です。日本の父親の子供と過ごす平均時間3.1時間(注)と比べると少しさびしいですね。家族が集まる中心もやはりリビングです。リクエストされました対面キッチンに、大きなテーブルが置けるように壁面収納等をプラスして、もっとゆったりとふれあいを楽しめる大きめのテーブルを置けるようにしてはいかがでしょうか。

(注) 国立女性教育会館実施「16、17年家庭教育に関する国際比較」より

上記は家族の部屋別の滞在時間を表にしたものです。

所見は担当ホームテックの建築士、プランナーが行ないます。

<「リフォームプラン」想定例>

親子の事例①

家族のふれあいの問題

父親と息子の同室滞在
時間が少なく、会話が減
るいっぽう。



FMS データから

息子が対面できる時間
帯に、父親が自室に滞在
している時間が長いこと
に着目。



最終提案

親子共通の趣味であるパソ
コンコーナーをLDKに設置、両
者の同室滞在時間を拡大させ
る。



親子の事例②

家族のふれあいの問題

仕事が多忙で、娘の起き
ている時間にはほとんど
帰れない。挨拶程度しか
会話がなない。



FMS データから

父、娘ともに洗面所は同
じ時間帯に使う事が多い
事に着目。



最終提案

一つしかなく順番でなければ使
えなかった洗面器を二つにし、
最小のコミュニケーション時間
を最大に活用できるよう空間を
拡大させる。



家族のふれあいの問題

退職してみると、夫婦でLDKにいる時間は長いのだがこれといった会話がな
い。リビングは快適なの
が。



FMS データから

夫婦ともに生活の時間も
使う空間もほとんど同じで
変化がない。ほとんど使わ
れない和室に着目。

最終提案

休遊している和室をセカンド・リ
ビングにする事で生活パター
ンに変化が付き易くなるよう空間
をアレンジ。今までにない新た
なふれあい時間を創出。

<お客様からのお問い合わせ先>

ホームテック株式会社 受付センター FMSグループ

TEL 0120-89-1802

<報道関係者様お問い合わせ先>

ホームテック株式会社 セールス・プロモーション部

広報担当・石原 TEL 042-356-8904